



いくつもの叫び声に後ろめたい思い 岐阜空襲B29・700機 死者 約900人 負傷者 約1000人

1945年7月9日。むし暑い夜の9時頃。いつものように警戒警報が鳴り、間もなく空襲警報に変わった。空襲警報が鳴ると、母は木之本国民小学校と奉安殿の御真影を守るために学校に出かけねばならず、空襲警報になっても子供達のいる家に帰ることはなかった。・・・その日はどこか様子が違い、B29の飛行機の爆音がいつもより間近に聞こえ、数も多いような気がした。・・・「そんなことしよったら焼け死ぬよ。はよ、逃げな。はよ、逃げんさいよー。」・・・人の流れに入り、長良川の堤防をめざした。・・・「お水をください、お水をください。」と頼む子供や女の人がいたが・・・怪我をした人の血の色がすみれ色にみえた。・・・空き地にひとつ黒く焦げた死体が丸太のように転がっていたが、誰も見向きもせず、わたしも弟も恐ろしさに身震いするわけでもなく、初めての不思議なものを見る思いでみつめるだけであった。・・・防空壕の中にはたくさんの焼死体があると聞かされた。夜明け近く、黒い雫のような雨が落ちてきた。・・・

アメリカのB29は、町の周りを最初に爆撃し、そのあとに市の中央部に焼夷弾を投下した。包囲攻撃で逃げ道をたたれたため、多くの市民が犠牲になり、命を奪われた。日本本土空襲として最大級の規模であった、と後の記録で知った。

(マサコの戦争・大脇雅子弁護士より 岐阜空襲のつどい・7月9日ハートフルG開催)

新電力の節約で、省エネ事業へ補助金

無所属クラブで熊本市の新電力導入政策の勉強をさせて頂きました。新電力導入での直接的税金節約だけでなく、熊本市は節約財源を活用して市内での省エネ機器等導入推進事業補助金を創設されました。

その趣旨の説明文は「この補助金は、本市における省エネルギー機器等(省エネ機器)の普及を促進することにより、地球温暖化対策の推進と災害に強い自立・分散型のエネルギーシステムの構築づくりを目的に、省エネ機器を導入する方々へ、予算の範囲内で交付するものです。」と述べられています。(補助額表はうら面掲載)

さらに、環境工場でのごみ焼却発電の電力は、これまで新電力会社へ売却していましたが、市の施設の約40%に電力を供給し「電力の地産地消」を実現。されています。

連絡先 市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

平成30年度 熊本市 省エネルギー機器等導入推進事業補助金メニュー

●補助メニュー

募集期間：平成30年8月10日～平成31年2月28日(必着)
 ※ 先着順のため、予算額に達した時点で終了

	対象	補助額	予定件数
エコカー (個人、 リース)	電気自動車 (EV) プラグインハイブリッド自動 車 (PHEV)	1台につき 10万円	100件 (予算 1,000万円)
住宅 (個人)	ゼッチ ZEH (ネット・ゼロ・エネ ルギー・ハウス)	1件につき 30万円	25件 (予算 750万円)
	太陽光発電設備	1kWあたり 2.5万円 (上限10万円)	75件 (予算 750万円)
	蓄電池	1件につき 10万円	50件 (予算 500万円)
	エネファーム (家庭用燃料電池)	1件につき 10万円	10件 (予算 100万円)
	LEDの無償交換	日程や場所等は、別途お知らせします	
事業者 向け	中小企業者等の 省エネ設備導入	対象経費の3分の1 (上限200万円、 下限20万円)	4件 (予算 800万円)